令和６年度
第1層生活支援コーディネーター
活動報告

１．活動方針

生活支援コーディネーターの役割

資源開発

・地域に不足するサービスの創出
・サービスの担い手の養成
・高齢者などが担い手として活動する場の確保　など

ネットワーク構築

・関係者間の情報共有
・サービス提供主体間の連携の体制づくり　など

ニーズと取組のマッチング

・地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング　など

１．令和６年度の活動方針

（１）通いの場（カフェ・サロン）の新規設立への相談支援や働きかけ

（２）インフォーマルサービスの拡充

（３）第1層協議体テーマへの取り組み

①民間企業との連携

②移動支援

２．活動の内容

No.	活動種別	活動件数	主な内容
1	地域資源発掘	17	民間企業の地域貢献への協力の掘り起こし
2	通いの場　訪問・情報共有・運営支援	94	既存サロンの活動内容の確認と助言による運営の支援
3	通いの場　設立誘導・設立支援	37	サロンの新規設立への勧誘や支援
4	移動支援・移動販売	20	居場所におけるデマンド交通利用に関しての他課への確認・調整
5	インフォーマル冊子関連	56	冊子への既存・新規掲載団体の調査、冊子配布協力企業との連携
6	企業連携　事業・情報収集・提供	47	㈱しまむらの支援サービス「しまサポ」の活用支援
7	介護事業所　情報共有	22	介護専門職との地域資源や地域貢献に関する情報共有
8	会議・研修・調査・イベント	113	関東信越厚生局地域ケア事例研究会　事例発表
9	地域・関係機関との情報共有・支援	77	社協・包括・地縁団体等との情報交換と支援
10	他市との情報共有	7	那須地区ＳＣ情報連絡会の発足

２．活動の内容
（１）通いの場の新規設立への相談支援や働きかけ

- **住民主体の通いの場の拡充の意義**
  - ✓ 参加しやすい住民主体の通いの場を増やし、地域住民が多く参加することによって、フレイル予防や、社会参加による認知症予防や精神疾患予防に好影響を与え、健康寿命の延伸につながる。その結果、医療費や介護保険サービス料を抑えることにつながる。

【取り組み内容】

- **新規設立への伴走支援**
  - ✓ 相談があった団体に対して、ささえ愛サロン事業費補助金の相談だけでなく、活動方法の相談や広報の支援、居場所開設時のお手伝いなど、幅広く支援を実施。
  - ✓ 新規設立をアプローチ。具体的には金秀寺、片田集学校、湯津上地区民生委員、金田地区地域住民などへ居場所設立を働きかけた。

2．活動の内容

活動強化相談・新規設立

- 岩舟台カフェ（湯津上地区）
- サンカフェ（野崎地区）
- しずこちゃんカフェ（東部地区）
- もぐらカフェ（西部地区）
- ゆりの木カフェ（東部地区）
- いこいの広場（佐久山地区）　など

そのほかの新規設立へ向けてのアプローチ

- 民生委員（金田地区）
- 協議体（親園地区・湯津上地区）
- 区長（黒羽地区）
- 地域住民（黒羽地区）　など

２．活動の内容
(2)インフォーマルサービスの拡充

- インフォーマルサービスはフォーマルサービスではできない支援を可能とするだけでなく、自分で調べることによる認知症予防にも寄与。
- また、介護保険のサービスを過度に利用することなく、生活支援につながる。
- ケアマネジャーから冊子「ちょっと頼みたい有料サービス」の活用について多くの反響をいただいている。
- その中でケアマネジャーからのアイデアや、不足するジャンルの強化を目指して、以下の活動を実施。
  ① 電動シニアカーのスーパーへの乗り入れの見える化
  ② 新規協力事業者の掘り起こし

2．活動の内容

①電動シニアカーのスーパーへの乗り入れの見える化

- **きっかけ**

　ケアマネジャーから、「スーパーの入口で電動シニアカーを降りて、ふらつきながらも買い物をしている様子を見かけた。インフォーマル冊子に掲載してもらえれば、降りなくてもよいスーパーが一目でわかるのではないか」という意見をもらった。

- **活動内容**
  - ✓ 市内の主要な小売り事業者（東武大田原店、サンキ、たいらや、ヨークベニマル、ベイシア、トコトコ大田原など）に、電動シニアカーの乗り入れについて可能かどうかを確認し、冊子への掲載についても了解を得た。
  - ✓ 依頼する中で、生活支援体制整備事業を説明し、幅広く協力呼びかけ。

- **結果**
  - ✓ 電動シニアカーでの乗り入れについて見える化し、地域住民が知ることによって、地域で自立した生活を送ることができる環境が整った。（実際に電動シニアカーの乗り入れを頻繁にみるようになった）
  - ✓ 事業者との協力、連携を行いやすくなり、冊子の配布先としての協力も得ることができた。

2．活動の内容

②新規協力事業者の掘り起こし

（i）訪問理美容

整容は衛生面だけでなく、フレイル予防や生活の質の向上に重要な役割を持っている。そのなか、市内の訪問理美容が少なくなっていたため、地域の理美容院に直接訪問し交渉。４件の事業者が協力してくれることとなった。

（ii）介護用品・福祉用品

介護保険の適用外でレンタル販売している事業者を掲載。介護認定がなくても活用できるので、自由に相談、購入できる。介護が必要になる前に活用できるため、相談したり、実際に使ってみたりと、シミュレーションすることができる。市内6事業者に交渉し、冊子に掲載することができた。

（iii）その他、生活支援をする事業者

移動の支援や買い物、片付け、ごみ捨て等、幅広く生活支援を行う事業所に協力依頼。冊子掲載後はフォーマルサービスでは賄えない様々な分野での依頼が入っている

2．活動の内容

【発掘した事業者の例】

事業者名

ＧＥ工業(個人事業主)

支援内容

室内の片付け、掃除、庭作業、買い物、散歩、外出の付き添い、通院支援など

経過

- ✓ 湯津上で地域貢献を目指す会社であり、声をかけたところ快く承諾。
- ✓ 冊子掲載後は、ケアマネジャーや施設利用者、一般の方など幅広い方から依頼が来るようになった。
- ✓ 当課への相談でフォーマルサービスが対象とならない方の場合に活用している。

２．活動の内容
(3)第1層協議体のテーマへの取り組み

① 民間企業との連携
- 民間の支援と地域需要へのコーディネートとマッチング

② 移動支援
- 既存の資源を利用しやすく

２．活動の内容

①民間企業との連携

【㈱しまむらの支援メニューを利用した買い物ツアー】

- きっかけ

　令和6年３月に市職員からしまむらで実施している「お買い物支援サービス」の情報を得たため、買い物に困っている地域に何とか導入できないかと考え「しまむら大田原店」の店長へ相談。

- 結果

「しまむらは地域貢献に力を入れており、是非、お買い物支援に協力したい」との回答を得たため、中山間地域である須賀川地区第２層ＳＣと連携し、買い物ツアーとして導入。

２．活動の内容

②移動支援

【デマンド交通の活用と地域住民への対応の事例】

- **きっかけ**

  湯津上地区のサロン「言ノ葉喫茶」において、坂道の下にデマンド交通の停留所が設置されており、利用者が急勾配の坂道を歩かなければならなかった。

- **対応**

  関係者と協議したうえで、生活環境課に相談。

- **結果**

  - ✓ 停留所を坂道の上のサロンの正面に設置することができ、坂道での転倒などのリスクを軽減することができた。
  - ✓ 通うために高齢者が高齢者を車に乗せてきていたが、デマンド交通を利用することによって、事故や負担を軽減することにつながった。
  - ✓ 威徳院から出発するツアーを開催することができるようになった。

３．今後について

- 活動で得られたもの
  - ✓企業・地縁組織・既存団体などとコミュニケーションをとることによる円滑な協力関係
  - ✓新たな地域資源による課題解決への選択肢の増加
  - ✓各地区における生きがいづくり活動の創出
- 令和７年度について
  - ✓本年度培った協力関係を生かし、企業とのさらなる連携や、既存組織などの地域資源を開拓・活用する。
  - ✓第１層協議体の方針に基づき活動